

コミュニティ・スクール通信



東連携型小中一貫校
学校運営協議会



(東クローバー)

第2回学校運営協議会 開催

第2回学校運営協議会が6月29日(火)藤岡第一小にて開催されました。会長、会場校校長あいさつの後、委員による授業参観が行われました。参観の際、校長より9年間の学びのつながり、生徒指導の3機能を生かした授業づくり、ネームプレートの果たす役割、板書の工夫等が実際に授業の中でどのように実現されているのか、説明がありました。委員の皆様は熱心に耳を傾けられ、その後の熟議の中でも、一貫校の学力向上に対して、貴重なご意見を多数いただきました。

今回の熟議内容

(1) 学力向上について

- ・研究発表に向けての第一小の取り組みを説明。
- ・東連携型小中一貫校合同研修の日程説明、内容について承認を得る。

《授業参観の主な意見・感想》

- タブレットを上手に使いこなしていて驚いた。
- 文字がていねいでノートが上手にとれている。
- 「これまで」の過程で既習事項を振り返ることは学力向上には大変有効である。ただ、先生方の負担が重くならないかが心配。→(系統表の活用などにより負担を軽減している。)
- 自己存在感、共感的人間関係の実現が授業の中で見ることができた。
- 授業スタンダードの型に則って授業を行うことは経験の浅い教師にとっては有効である。

(2) いじめ問題解決に向けた教育懇談会について

- ・コロナ感染症のため秋に順延(11月頃)
- ・懇談会ではアクションプランの作成に向けてグループワークを行う。委員にはグループのリーダーになって話し合いをリードしていただきたい。

(3) 「EAST(イースト)子育てアクションプラン」の作成について

- ・案1を提案。教育懇談会で活発な意見が出ることを期待している。アクションプランをツールとして、コミュニティ・スクール及び小中一貫教育の取り組みの周知を図り、学校、家庭、地域の当事者意識を高める。

(4) 学校評価について

- ・7月、12月に実施予定。質問項目について評価部会を開き、検討、改善を行った。

改善の視点：「一貫校が行おうとしていることに対して保護者が認知しているか、どのように思っているか。」という点から項目の見直しを行った。

【見直し例】

従来：「お子さんは、授業がよく分かっていますか。」

(基礎基本の定着)

今回：「学校は、「わかりやすい授業」を行っていると思いますか。」



藤岡スタンダードに則った授業を参観する委員

部会別協議

- 評価部：学校評価の結果を今後どのようにアクションプランに反映させていくかが課題。
- 広報部：推進連携部との協働により、従来のCS通信を表面として学校運営協議会の活動を中心に掲載し、裏面を「東クローバー情報局」と称し、ボランティア活動の様子をお届けする。(本号より)
- 連携推進部：コロナの影響でボランティア活動が停滞していたが、2学期以降本格的に活動を行っている。東中にて漢字検定、英語検定補助を行う。「東クローバー情報局」の記事としてボランティアへの取材を行っていく。



部会別協議での活発な意見交換